

大瀧豪士 (ごうし) くんについて

年中長の保護者会ではお話できたのですが、年少組では時間が足りなくてできませんでした。

大瀧ごうしくんは、沼津市の発達支援センターみゆきに通っていますが、新年度のクラス編成で“留年”してしまい、いわば、年長さんがもう一度うさぎ組から一年やり直さなくてはならないような状況になってしまい、これは制度や受け入れ側の問題で今の社会状況では仕方ないのですが、新しく始まった新学期に豪士くんのメンタルはズタズタになって荒れていたという話を耳にしました。昨年度から園児との交流について模索はしていたものの感染症が流行ったりしてなかなか実現できない状況がありました。

4月になって園庭で遊んでいる豪士くんを見ると、以前より身体がしっかりしてきており園庭で遊ぶのには支障はない様子が見てとれました。そこで原町幼稚園でできる精一杯のことといえば園庭に遊びに来てもらうぐらいしかできないけど、もし良かったらあそびにおいでという話をご両親にしました。

制度上仕方ないといっても子どもには発達する権利があり、できる限りのことは保障しなければなりません。ただ、園では医療的ケアができないので入園はかないません。(本当に申し訳ないと思います)

なので、たまころの園庭開放と同じように保護者付添で遊びにくる、という扱いになります。一步踏み込んで在園児の子どもたちとも馴染んできたら一緒に遊んだり、聴講生的に一緒に活動をやったりしても良いと考えています。(状況を見ての判断になります)

わが子の成長を願うのは誰しも同じです、今年一年一緒に過ごす時間が有意義になりますように！原町幼稚園の皆さんよろしくお願い致します。

ご両親をお願いして豪士くんの状況を書いて頂きました。おこさんから質問などがあったときは率直に話していただければと思いますし、難しい場合は「幼稚園で先生に聞いてもらえ」と言ってあげて下さい。園長

ゆり組の大瀧梨央(おおたき りお)の兄で年長・5歳です。

豪士はトリーチャーコリンズ症候群という病気です。

なぜか顔の骨だけ未発達で産まれてくる遺伝子の突然変異です。

だいたい5万人に1人とされていますが、多分沼津には1人だけだと思います。顔の骨だけ未発達なので肩から下に病気はなく、みんなと同じように走ったり踊ったり、ストライダーに乗ったりします。

【呼吸】

豪士は顎の骨が未発達で口の中がとても狭いので、自分の舌を口の中に置いておくことができません。自分の舌根で窒息してしまうので、喉に穴をあけてあります。(気管切開といいます)



喉からちょっとかわった形のストローみたいなもの(カニューレ)を入れてあってそこで息をしています。

楽しく遊んでいるとそこから痰がでてきますが、みんなが鼻をかむみたいな感覚で咳をしてティッシュにだします。時々、父や母が機械を使って吸います。(痰吸引)

カニューレが取れてしまうと息が出来なくなってしまい命に関わるので、いつも父や母が近くで見守っています。

ちょっとかわった形のストローは月に1回、家で父と母が交換します。今まで取れてしまったことはないのですが、引っ張ると取れてしまうので引っ張らないように気をつけます。





また、喉の穴から水が入ってしまうと溺れてしまうので、頭から水をかけられると息が詰まってしまいます。

【食事・栄養補給】

口があまり大きく開かないため満足にご飯が食べられません。栄養をとるために胃に穴をあけてあります。(胃ろう) 胃にピアスのようなものがついていて、家族と同じご飯をミキサーにかけたものを入れます。

どのくらい口が開かないかと言うと、年中さんのときにやっと赤ちゃん用の一番小さい歯ブラシが奥歯まで届くようになりました。歯は定期的に静岡こども病院でクリーニングをしてもらっています。

【聴力】

耳は中(内耳)はあるのですが、外耳と呼ばれる突起と耳の穴がないので、小さな音が聞こえづらいです。いつも頭につけているヘアバンドが補聴器で、骨伝導で音を伝えてくれています。

メガネをかける外耳がないので、ヘアバンドにくくりつけて、メガネと補聴器を一体型にしてあります。自分で付け外しできます。

朝、親がうっかり忘れていても、自分でとってきてつけて出掛けます。お風呂に入る時と寝る時以外は基本的につけていますが、機械を通した音を一日中聞いているのは疲れるようで、家では親の声を察知すると口元を見て喋っているのを確認して、親の口元に耳をくっつけて聞きます。本人はそれが一番楽な「聞く方法」な様ですが、先生やお友達全員に耳元で話してもらうわけにはいかないことは理解していて、必ず補聴器をつけて外出します。

「バスとバツ」「ケーキと元気」くらいの聞き間違えがあります。先生の指示を聞き間違えても、集団行動はお友達の動きを見て真似します。なので聞き間違えたときほど、「今は何をやる時なのかな?」とお友達の動きを見ようとキョロキョロしています。

【会話】

難聴で喉に穴もあるので、お話はとても苦手です。まだ慣れていない場所では、特に目からの情報収集に精一杯で言葉が出にくいです。そして喋っても言葉が不明瞭で最初は聞き取れないと思います。慣れると不思議と聞き取れます。なので家族や慣れた先生やお友達とは会話が成り立ちます。



絵本が大好きで、家では最近絵本を読んでいることが多いです。梨央に読み聞かせもしてくれます。特にぐりとぐらシリーズが好きです。その他は、車と電車、シンカリオンが好きで複雑な合体が得意です。妹の影響で、プリキュアも好きです。キュアウイングが一番好きですが、最近はおもちゃのインカムをつけて「ぜった〜い! アイド〜ル!」と歌っています。

『医療的ケアと現状』

気管切開や胃ろうのことを「医療的ケア」と呼びます。
医療的ケア受け入れOKの施設では歩ける子はNGで豪士は受け入れてもらえません。

発達障害や知的障害のお友達がいる施設では看護師さんがいないので、受け入れてもらえません。

一般的な幼稚園保育園も同様です。

「動ける医療的ケア児」と呼ばれる豪士のような子は受け入れ先が少なく、豪士に適した教育が受けられないのが家族の悩みです。



豪士はお友達が元気に過ごしている場所が好きで、ずっと前から原町幼稚園が大好きでした。妹のおさかなTシャツを着て、たまご帽子を被り、茶色いカバンを背負って「はらまちに行きたい」とずっと言っていました。
去年の運動会で見た「花笠音頭」が特に気に入り、プラスチックのお皿を持って家で踊っていました。

豪士の病気はうつらないし、今までにお友達を叩いてしまったこともありません。

豪士のことを知ってもらえることは、私たちにとってうれしいことです。

お子さんやご家族が思った「なに？なんで？」は率直に聞いてくださるととてもうれしいです。

反対に「見ちゃダメ」「聞いちゃダメ」と“触れてはいけないもの”にされてしまうのが、一番悲しいです。
どんなことでも大丈夫です！

なんでも聞いてください！！

これからお会いする機会が増えるかと思いますが、よろしくお願いいたします。大瀧



みんなとは違う

特別な身体を持って生まれてきたごうしくん、
身体や生き方は特別だけど

みんなといっしょにいるときは

特性や気をつけることをわかった上で

特別じゃない存在として

ふつうに付き合えることを、ふつうにしていきたいですね。



子育てサロン sorairo

2023年に現役ママたちで立ち上げた、乳幼児の親子を対象とした民間の子育てサロンです。沼津市が実施している「民間まちづくりファンド事業」の支援を受けて活動中！
原町幼稚園や、原地区のお寺などの施設をお借りして親子向けイベントを開催したり、マルシェやお祭りなどにも出店しています♪
お子さまが楽しめる企画はもちろん、ママのワークショップやパパ参加型イベントもありますよ。



クリスマスイベントは
先生ともコラボ！！
とっても盛り上がりました



0歳児さんイベント
たまには親子でのんびり
ママたちの産後ケア体操＆
ふれあい体操



キラメッセやマルシェで
親子向けワークショップ



季節のフォトブースも
毎月喜んでいただいています

現在、10名のママたちがスタッフとして一緒にサロンを盛り上げてくれています。
趣味や特技、キャリアなどを生かして活動してくれているママも♡
子どもが好き、作ることが好き、おしゃべりが好き…
など何でもOK！ご興味のある方は、私たちと一緒に楽しみませんか？

詳しくは、つき組庄司・ゆり組藤本まで♪



@SORAIRO_2023

インスタ、LINEでイベントの情報を発信しています。
お問い合わせはインスタのDMまたはこちらのアドレスまで
sorairo.20230601@gmail.com



我が家は子ども達が
独立して
夫婦二人暮らしに
なっていた。



ずいぶん前なのに、
忘れられないことがある。



「隣人として」

in the shade of family tree

木陰の物語

団 士郎

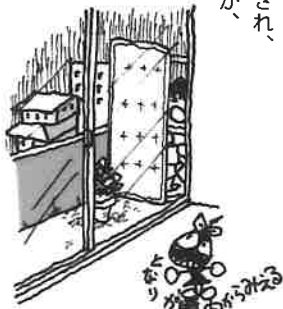
当時住んでいた
マンションの隣室で
児童虐待を
思わせることが起きた。



大声で叱責されて
いるのを何度か聞いた。
姉弟二人が
いるようだった。



夜、ベランダに出され、
鍵を閉められたのか、
「入れて入れて、
ゴメンナサイ」と
男児が叫ぶのを
見た。



数日後、
出張仕事が早く
終わって、
夕刻前に帰宅した。



隣家のドア前を通ると、
インターホンから
叫び声がした。



母親の怒鳴り声と、
女兒の叫ぶ声が廊下に響いていた。



どうなっているのだこれは？
と思った。



通り過ぎようかとも思ったが、
気になって立ち止まった。

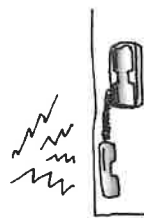


見過ごしておいて、
何かあつてから
隣人として話を
聞かれたりする絵が
頭に浮かんだ。

そこでインターホンを押してみたが
ウンともスンとも言わない。



我が家も同じ設備だから分かるが、
既に受話器が外れている。



だから家の中の声が外に
漏れているのだ。



しょうがないなあと思って
黒いステイルドアをたいた。



しばらくたたき続けると
インターホンから男児の声で
「お母さん、ドンドンしてる」と
聞こえた。



ピタッと声が止んで、
ドアがそっと小さく開いた。



「隣の者だけど
ウルサイ！
いい加減にしないと
虐待だつて警察に
通報するぞ！」



あらかじめ考えたように、
事情など聞かず迷惑だと強調した。



母親は
「すみません、
ご迷惑かけて…」
といった。



「いいですね、
申し上げましたからね！」と
念をついて自宅に戻ろうとした。



その時、母親の
うしろから女の子が
廊下に裸足で
飛び出してきた。



「私が悪いことをしたから
叱られていたんです！
お母さんは悪く
ありません！」



やりきれなくて
振り返れなかった。

子どもはあんな風
にお母さん
を守ろうとするのだと
胸が痛んだ。



あの時、ドアを叩く前、
仕事の関係でこういう事は
知っているなんて態度は
とらないと決めていた。



客観的でなければならぬ分、
専門家は隣人より弱い。



叱責の怒鳴り声は
日常だった。

私にとって
うるさくて迷惑なのは
主観的事実である。

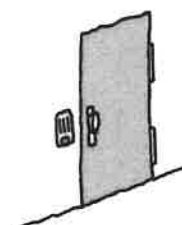


これを母親は
「いや、うるさくない！」
とは言えない。



もし児童虐待に
あたるかどうかなど
議論になったら、
面倒だったろう。

この後、隣家はすっかり
静かになった。



ちょっと心配になって
時々、隣家の様子に
耳をこらしたりした。



その後しばらくして、
事情は分らないが
祖母が同居し始めたようだった。

“木陰の物語” 広がる! プロジェクト



<https://honblock.net/kokage/>

「木陰の物語」を読んだ感想や、
あなた自身の物語をお寄せください。

子育てのアレコレにまつわる つぶやき⑫『かわいい子には…』



京都光華女子大学心理学科 大谷多加志

「どこかにマイル」という JAL のマイレージサービスを最近知りました。4 つの行先からランダムに決定された往復航空券とマイルを引き換えられるサービスで、行先が選べない分、通常より少ないマイルで往復の航空券が取れるのと、偶然による旅先での体験を楽しめるのが売りのようです。

このサービスを知ったのは、息子が勝手に申し込んだからです。夫婦と息子の 3 人家族の我が家には「男二人旅」という習慣があります。家族旅行では行かないような旅先に私と息子だけで出かけるというもので、今年は 3 月末に長崎市と五島列島に行きました。長崎も五島も、興味深い文化と歴史があり、土地の持つ力を感じられるよい旅でした。長崎から帰って数日後、息子から話があると言われ、告げられたのが先の「どこかにマイル」に申し込み、仙台行の航空券が取れたので 4 月初めに一人で日帰り旅行したい、ということでした（息子は中学卒業直後で、この 4 月から高校生です）。

息子は親に勝手に物ごとを決めることが少ないので、今回相談せずに航空券を取っていたことについては、基本的にポジティブにとらえていました。もう、何でも親に決めてもらう年齢ではありません。その上で、基本的に OK を出すつもりで、検討すべき条件だけを考えました。飛行機への搭乗手続きは十分理解しているとわかっていたので、通常の移動にはそれほど心配はないと判断しました。一方で、初めての遠方への一人旅で大きいアクシデントに遭遇すると、その対応はやや心配です。そこで、目的地は市街地など通信状況や交通手段、人の往来などが確保されている場所に限定して一日の旅程を考えてもらい、当日は定時報告をすることを前提に、仙台行きを OK しました。

写真は、旅先の息子から送られてきたものです。旅先ではとりあえず名物を食べることにしている息子らしいチョイスで、一人旅を楽しんでいる雰囲気は伝わってきました。「かわいい子には旅をさせよ」とは言いますが、“何かあったら…”という心配が頭をよぎりはしました。今回は、我が家の場合はこんな感じで旅に出しました、という報告レポートでした。





世界に飛び立て(5)

こんにちは。2024年のはらっぱを通して20年間の子育てを振り返ってきましたが、今年も書かせていただけるとのことで（やったー）、ひき続きおさらいをしてみようと思います。

今回は、20年間の子育てを通して感じた事を、つらつらと書いてみようと思います。
まずは、子育ての経験をさせてくれた娘に感謝です。これは本当に日々痛感することで、もう子育ては終わったのですが、この思いは深まるばかりです。至らない事の多かった母ですが、どんな時も向き合ってくれてありがとう、どんな時も母を好きでいてくれて（？はず）ありがとう、いつも笑顔でいてくれてありがとう、自分（娘）の誕生日に必ず「母誕生日（母になって〇〇年目）」も祝ってくれてありがとう、社会人になった今、楽しそうな日々を過ごしてくれてありがとう、自分の人生を歩んでくれてありがとう。ありがとうオンパレードですね。

子育ての間、私自身も多くの経験と沢山の人々に会う事ができました。その時間やその機会がもしなかったら、今の娘の育ちはまた違っていたかもしれせん。私自身が多くの人々の愛を通して、アップデートさせてもらっていたように思います。

「こうじゃなきゃいけない」からの卒業、

「親の理想」からの解放、自分自身がどう生きるのか（ちょっと壮大！笑）子育てを通して、私自身の生き方を大改革させてもらったように思います。なので感謝でいっぱいなのです。

子育てはとても難しく、反省もとても多いのですが、子どもを愛する気持ちさえあればそれでもよいと思います。その都度軌道修正を行いながら、親も子供も一緒に育っていくのが私のスタイルでした。

もし、もう一度子育てが出来るとしたら「次は絶対にこうする！」ベスト5を考えてみました。

- ①とにかく子どもとたくさんお喋りする、子どもの話をたくさん聞く
- ②子どもと一緒にいる時にはスマホや携帯は触らない、見ない
- ③長時間叱らない
- ④子どもの行動や考えを面白く見聞きする
- ⑤子どもの興味や関心事の種を見逃さない、好きな事とことんさせてみる（割とこれは自信があったのですがもっとです）



今年4月、娘は社会人になりました。世界に飛び立つのはいつになるのかな～私の子育てが正解であったかどうかはまだわかりません。ただ、これまで過ごしてきた娘との時間を信じて、社会へ送りだしました。さて、いよいよ、私の子育ての答え合わせがすこしずつ出来るように思います。

次号からは、もう一度子育てををするとしたら～の↑の5つを振り返ってみます。 孫ちゃんす



細菌はおともだち

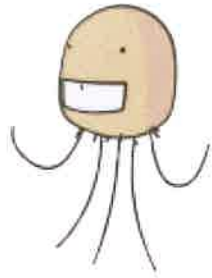
その1：はじめまして！

はじめまして。

立原亜希斗の父で、誠之と言うものです。

大学で博士課程まで微生物の研究をしていました。

現在、某所でラボテクニシャン(実験補佐)をやっています。



以前、園で

親父の会が開催されまして、園長先生とお話しする機会がありました。

そこで酔っ払っていて経緯は覚えていないのですが…

ウンチの話となりました。

多分コロナのおかげで子供達の免疫獲得機会が減ったとかなんとか？

がキッカケだったと推測しています。

元々土壌細菌の研究をしていて、その経緯で「土って地球のウンチだ！ウンチを制すれば環境も制する！」となって、一時期マウスのウンチを使って腸内細菌を研究していました。

なのでウンチの話となると俄然ヤル気が出てしまい、園長先生に熱弁してしまいました。

有難い事に園長先生は興味を示してくれて、この事を書いて欲しい、親御さんに知って欲しいと言われ、この文章を書くに至りました。

しかし！年度末！機関としては多忙になる為中々手付かずでいましたが、やっと余裕が出来たので執筆しています。

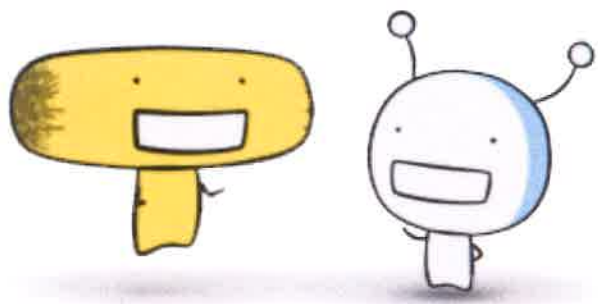
そして、今思い出しましたが、お酒の話からウンチの話になりました。高尚なものではなかったです。

さて、次回から何回かに分けて書こうと思いますが、微生物ってどんなの？から始めて、やっぱりウンチ。そこから腸内細菌の話、赤ちゃんの守護神(菌)、じゃあ大人は？自然の中で遊ぶのは大事だけどなんで？…などなど話は尽きません。

だんだんコアな話になると、微生物がいないと成り立たないくらい頂点に君臨してる(お酒の話しを含む)けど謎しかない菌の話。日本はキレイすぎる…など、いろいろ書きたいことは浮かんできます。

注意点が1つだけあります。

潔癖症の方は多分絶望します。



OBママのお話

毎日がアドベンチャー

ここは、子供達の冒険天国。
楽しいが楽しいを繋げる伝染スポット。
だから、子供も保護者も楽しんだ勝ち♪

私は、約20年経過中の元保護者です。

早いっ！

丁度、前の園舎、仮園舎、今の園舎と幼稚園が様変わりする時に子供を通わせていました。はらまち愛に溢れた保護者の一人です。

世の中には、沢山いるんですよ。そういう人（笑）

ちょっとしたエピソードを紹介しながら、一年「はらっぱ」にお付き合いさせていただくことになりました。よろしくお願いします。

当時は、夜中から並んで、入園願書が出せないほどの人気でした。我が家も、夜中の1時頃から並びました（笑）原の学区ではなかったけれど、どうしても通わせたいと思えたので。今は、世の中の園児が少なくて、そんな早朝からもないそうで、皆さんは、ラッキー！

当時も良かったけど、今も、子供達が楽しむことに特化した保育は、バージョンアップしてるはず。だって、園長の上向きな楽しむは、子供目線だし、そして関わる先生方が、面白いのよね（笑）先日、園を覗いたら、懐かしいお顔がいっぱい（笑）

ここは、はらまち愛に溢れたところなんだなあ と改めて実感。

実は、子供だけでなく、子供を通して、関わるみんなが育つところなんですよ。

毎日違う毎日。「はらまち幼稚園」で、子供も大人も冒険しましょう！

きっと振り返った時、

皆さんの楽しい記憶のカテゴリーにここで過ごした時は、記憶されます(((o(°▽°)o)))

因みに、子供達は、ほぼほぼ忘れてます（笑）

毎日がアドベンチャー♪



次回は「赤い車と青い車」の話です。

登内美香

（紙面レイアウトは鶴谷）
今年も中学校の卒業式後に、
卒園生が親子で来園してくれました。

みなさんこんにちは。

こどものとも社の高林信作と申します。

県内の保育園さんに福音館書店の月刊絵本『こどものとも』をお届けしています。

ここでは、人類史の話をベースに、書籍や絵本の紹介をしていきたいと思います。



ご入学・ご進級おめでとうございます



新年度が始まりました。自己紹介もかねて、私が趣味でやっている、競技フットサルというスポーツについてお話しいたします。

サッカーに似たフットサルですが、細かく見ると多くの違いがあります。例えば、ボールを止める時や運ぶ時に、足の裏を多く使うことです。足裏を使うことで、ボールを細かく動かしたり常にボールに触れていることができます。コートのサイズが狭いため、相手との距離が近いフットサルでは非常に大切な技術です。最近ではサッカーにフットサルを取り入れる指導者も増えてきました。ブラジルのロナウジーニョやネイマール、スペインのイニエスタ、フランスのジダンなど、有名なサッカー選手も幼少期にフットサルをやっていたそうです。では、ここから詳しくフットサルとサッカーとの違いを紹介していきます。

フットサル
ピッチサイズ
20m×40m

サッカー
68m×105m

まず、コートの大きさですが、サッカーコートに比べて非常に小さく1/9程度の広さです。ゴールも小さくてハンドボールと同じゴールを使用しています。コートの広さもハンドボールと同じです。

ピッチ表面

木、人口材質

芝

フットサルは室内競技なので主に体育館で試合をします。沼津市には香陵アリーナという施設があり富士市には今年の4月に北里アリーナ富士がオープンしました。東部社会人フットサルリーグは香陵アリーナで行われています。北里アリーナでも今後、プロの試合などが開催されるかもしれません。

人数

5人

11人

コートが狭い分、人数も少なくなります。そのためサッカーに比べて、1人がボールに触る機会が6倍以上といわれています。幼少期にどれだけボールに触れたかで技術の差が出るともいわれていますので、小さいうちはフットサルをやるのが良いと言われる理由でしょう。

試合時間

20分ハーフ（プレーイング）

40分ハーフ（ランニング）

サッカーとの大きな違いはプレーイングタイムを使用しているところです。プレーイングタイムとはボールがピッチから出たり、ファールがあった場合に時間が止まることです。これはバスケットと同じです。

オフサイド フットサル
 なし

サッカー
あり

オフサイドの説明は難しいので省きます。フットサルにはオフサイドはありません👍

選手交代

自由

5人まで

フットサルではいつでも自由に何度でも交代ができます。私が指導している社会人チームでは、3分間で交代を繰り返し、常にフレッシュな状態でプレーできるようにしています。場面展開が早く、攻守が目まぐるしく変わるフットサルはピッチ内では1秒も気を抜けません。

ゴールキーパーへの
へのバックパス

禁止

手で触れなければ何度でもよい

相手がボールに触れた場合は1度だけゴールキーパーにバックパスができます。相手が触れないままのバックパスは間接フリーキックのファールを取られてしまいます。ただ、非常にわかりづらいルールなので、まれに審判が気づかずプレーが続行されることがあります。

プレーの再開

キックイン

スローイン

ピッチの外にボールが出た場合は足で蹴って再開します。その際、ライン上にボール止める、4秒以内に再開しなければならないなど細かいルールがあります。

第2PK

6つ目のファールから適用

なし

フットサルにはファールカウントがあり、6つ目からは第2PKが適用されます。ファールが5つたまってしまうと、6つ目からは相手チームに対して、ゴールから10m離れた位置からの直接フリーキックが与えられます。ディフェンダーが壁に入ることができないので、実質サッカーのPKと同じ状況になります。

まとめ



競技フットサルはサッカーのようにボールを足で扱い、ハンドボールと同じコートとゴールで、バスケットに似たルールで行うスポーツです。

実際にフットサルとサッカーをやっている私は、2つは似て非なるものと感じています。

戦術、プレーのにも、L（エル）とよばれる動きや、ブロック（相手の進路を防ぐ）ピック&ロール（2人組の動き）スクリーンプレイ（2人組の動き）などバスケットの動きを応用しているものも多くあります。

デザインプレーも多くあり、すべての動きに名前がついています。いくつもの動きの中からプレーを選択し、組み合わせて瞬時に判断をします。プレー中は常に頭と身体を動かしています。

コートが狭い分シュートシーンも多く攻守の切り替えも早いので、見ていても迫力があります。



近年ではフットサル場も増え、フットサルを楽しむ人が増えてきました。

サッカーに比べて人数も少なく短い時間でできることや、ローカルルールを適用して誰もが楽しめるようにしている点なども要因のひとつだと思います。

幼少期には色々なスポーツをやったほうが運動能力が高まると聞いたことがあります。親子でフットサルも楽しんでみてはいかがでしょうか。



ボンチチ

16

4月号

「はらっぱ」をご覧のみなさん、こんにちは。
卒園生の父で川口慶と申します。
このボンチチでは、書籍やボードゲームの紹介をさせていただいております。
この連載も16年目になりました。よろしくお願いいたします。

にゃんともかわいいボードゲーム



にゃんこならべ

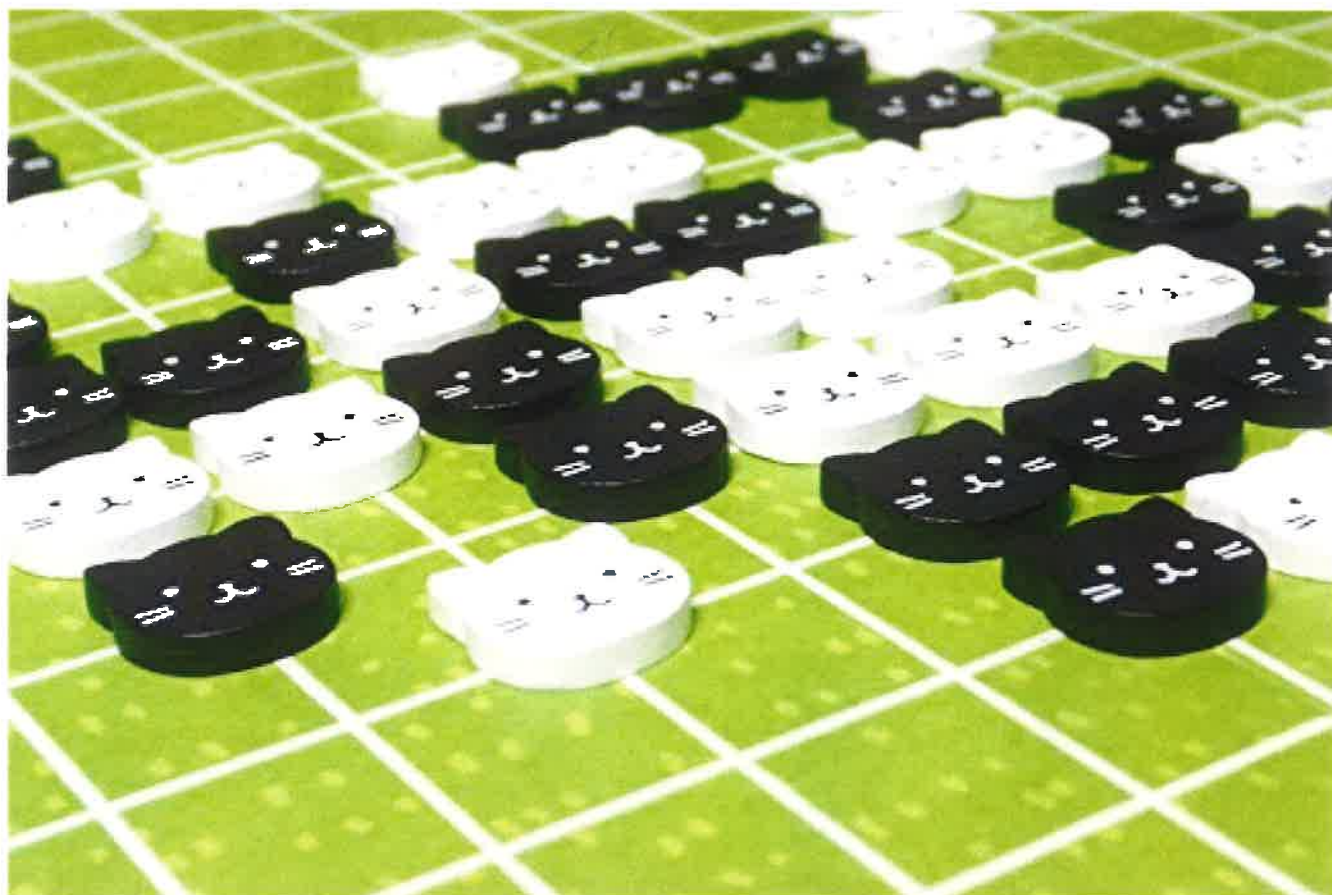
メーカー：合同会社ふくふく
対象：6歳以上
人数：2人
時間：3分～
参考価格：¥2800（税込）

今回紹介するのは、「にゃんこならべ」です。

「にゃんこならべ」は、白黒2種類のにゃんこを使って、自分の色のにゃんこを5つ並べたほうが勝ちというとてもシンプルで、どなたでもすぐに楽しめるゲームです。

にゃんこが3つ並んだら「にゃー!」4つ並んだら「にゃん!」5つ並んだら「にゃんこ!」と大きな声で宣言します。

かわいいにゃんこを並べながら、お子さまの集中力や思考力を育むことができます。
かわいい見た目ですが奥深く、飽きることなく長く楽しめるゲームです。



倶楽部 ダンケビッテ

「遊びは学び」

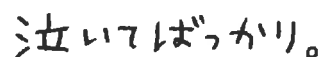
倶楽部ダンケビッテは家族向けのボードゲームサークルです。
今は、コロナ感染症があったため、活動を休止しています。
なかなか活動再開できませんが、このページではボードゲームを紹介していきます。

ボードゲームは優れたコミュニケーションツールです。

対戦相手との挨拶から始まり、ルールに沿って遊ぶ良識あるマナー、そこから広がる交流など、社会性が養われます。

また、常に自分・相手の状況を考えながら、最良の方法を見出して勝利を目指すので、非常に頭を使い、知育的な側面もあります。

親が子どもとゲームを遊び、ルールの助言や、人との交流に、積極的にかかわっていくことで、子どもとの絆を深め、親子一緒に成長していくことができます。



今月、上田さんの原稿はお休みですが、
 2017年9月号のはらっぱにころころホールの
 ソファーを寄贈して頂いたことから掲載が
 始まったHikaruくん育児マンガ。息子のHikaruくんが
 1歳になったのを記念して描かれたものです。
 その初回をご紹介します。
 ソファーは8年経ってかなり経年劣化してしまいましたが
 まだころころホールにいます。(鶴谷)



-42-